

JSDA

一般社団法人 日本シャッター・ドア協会

58
Jan.2020

- ② 年頭所感 2020年頭ごあいさつ
- ③ 特集 第24回定例理事会及び令和2年新年賀詞交歓会
- ⑥ 特別寄稿 摂南大学 理工学部 建築学科 教授 池内 淳子 氏
「竜巻災害の実態
＝シャッター・ドアに期待されること＝」
- ⑦ スポットライト 優秀施工者国土交通大臣顕彰
- ⑧ トピックス 第23回定例理事会 西日本支部懇親会
- ⑩ 新会員企業紹介コーナー
- ⑪ 第8回 会員企業紹介コーナー

2020年 年頭ごあいさつ

一般社団法人 日本シャッター・ドア協会
会長 長野 敏文



新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

旧年中は協会の活動にご理解・ご協力を頂戴し、厚く御礼申し上げます。本年も一層のご支援を賜りますよう、なにとぞお願い申し上げます。

さて、昨年も記録的な集中豪雨や強い勢力を伴う台風・地震など、多くの自然災害に見舞われた一年でした。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

又、当協会においては、協会資格である「防火シャッター・ドア保守点検専門技術者」において、実務経験年数が不足した者が本資格を不正に取得し、更に、これを受講資格要件として国家資格である「防火設備検査員資格」を取得した者がいることが判明しました。

本件については、国土交通省の指導の下、是正、及び再発防止に向けた取組みを進めてまいりましたが、この3月にあらためて資格認定講習会を再開できることとなりました。

皆様には大変なご迷惑、ご心配をおかけしました事を深くお詫び申し上げます。

さて、2020年を迎え、東京オリンピック・パラリンピックの開催が近づきました。新国立競技場など主要な施設が完成し、いよいよ開催の時を待つのみであり、期待で胸が膨らんでいるのは私だけではないでしょう。また建設関連業界においてはオリンピック施設以外にも2020年3月の大型施設竣工が多くあるため、各社ともかつてないほど忙しくされていることと思います。

こうした中で防火設備検査報告制度は、2016年6月に施行後、当面3年の間で1回の報告を求められた経過措置期間が終了し、昨年より毎年の報告が義務付けられるようになりました。本制度は国家資格として専門的な知識と技術を有する防火設備検査員によって行われるものですが、当協会は、一般財団法人日本建築防災協会から、防火設備検査員講習における実技講習を受託し、これまでに約9,700名が全国で受講されています。当協会の防火シャッター・ドア保守点検専門技術者の内、この防火設備検査員資格者を加えると、合計15,000名弱の方が資格者となっております。

当協会は、防火設備検査報告制度が適切に運用されることにより、防火設備の安全性・信頼性を確保できるよう、

協会として全力で取り組んでまいります。

更に、シャッター施工者を対象とした技能検定制度の導入を目指して、準備を進めております。防火設備の検査報告制度には検査員資格が制定されたにもかかわらず、シャッター施工を行うための国家資格はまだありません。技能検定とは働くうえで必要とされる技能の習得レベルを評価する国家検定制度で、合格すれば合格証書が交付され、「技能士」と名乗ることが出来ます。このことが、施工品質の向上はもとより、施工者の地位向上、ひいては人手不足の解消にもつながる事となりますので、当協会としては、是非とも指定試験機関となれるよう、スピードを上げて取り組んでまいります。皆様におかれましても、是非この主旨をご理解いただき、ご協力の程お願い致します。

又、近年のゲリラ豪雨や、大型台風の影響による大雨被害等の増加に鑑み、当協会では浸水防止用設備のJIS化を進めておりましたが、おかげさまで昨年11月にJIS A 4716「浸水防止用設備 建具型構成部材」が制定されました。

今後、建物所有者・管理者様におかれましては、浸水防止用設備の設置に向けて積極的な検討がされることにより、浸水被害の防災・減災に貢献できるものと考えております。

協会としてもなお一層の普及促進に取り組んでまいります。

尚、重量シャッター・軽量シャッターについては、現在、JISの改正に取り組んでいます。

一昨年、経済産業省から当協会宛てに「電動シャッター動作時の事故防止の取組等について」という要請書が発信されました経緯もございりますが、協会としてJISの改正に取り組むと共に、安全装置の装備、点検の推進などの安全周知活動を行い、安全、安心な社会に向けて貢献してまいります。

本年も気候変動の影響による台風などの自然災害、またポスト2020における建設業界への影響など、さまざまな環境変化が予想されますが、協会としては会員各社と心を一つに“ONE TEAM”として、一層社会へ貢献できる協会を目指して、決意を新たに取り組んでまいりたいと存じます。

本年も皆様からの変わらぬご支援の程、宜しく申し上げます。

特集

第24回定例理事会及び 令和2年新年賀詞交歓会が 開催される



東京・千代田区にあるグランドアーク半蔵門において、さる1月14日に定例理事会が開催され、その後、夕刻より恒例の新年賀詞交歓会が開催された。

定例理事会

16時30分より5階「シンフォニー」において、第24回定例理事会が開催された。理事会では報告事項として、「防火設備検査報告制度」「技能検定制度」「防火シャッター・ドア保守点検専門技術者資格認定講習会の開催」「浸水防止用設備 JIS 制定」「建築物における電気設備の浸水対策のあり方に関する検討会」の5点について説明が行われた。



令和2年新年賀詞交歓会が開催される

新年賀詞交歓会の会場となった4階「富士東」には、来賓、会員、マスコミ関係者ら225名が参集し、山崎事務局長による司会進行のもと、18時の開宴とともに長野会長より新年の挨拶が行われた。続いて、政務多忙のなか駆けつけていただいた来賓として、衆議院議員の田中和徳・復興大臣、平将明・内閣府副大臣、秋本真利・自由民主党国会対策副委員長より挨拶をいただいた。続いて、国土

交通省の眞鍋純・住宅局長にもご挨拶いただき、同省より淡野博久・大臣官房審議官、長谷川貴彦・住宅局建築指導課長に来賓として出席いただいた。また、菅義偉・内閣官房長官の祝電も披露された。

その後、潮崎副会長の乾杯の発声により歓談に移り、会は19時30分に小松副会長により中締めが行われ、終始和やかな雰囲気の中、今年の賀詞交歓会はお開きとなった。

ごあいさつ



■長野 敏文会長

明けましておめでとうございます。今年の建設関連業界は、東京オリンピック・パラリンピック関連施設以外にも大型施設の竣工が控えており、会員各社ともかつてないほど活況を呈した状況が続いていることと思います。

昨年より防火設備検査報告制度は毎年の報告が義務付けられましたが、同制度は国家資格である防火設備検査員によって行われています。当協会は一般財団法人日本建築防災協会から防火設備検査員講習における実技講習を受託し、これまでに約9千7百名が全国で受講されており、当協会の防火シャッター・ドア保守点検専門技術者の内、この国家資格者を加えた1万5千名弱の方が有資格者となっています。昨年は、保守点検専門技術者の不正資格取得問題で関係者の皆さまに多大なご迷惑をおかけしましたが、3月よ

り改めて資格認定講習会を再開できることとなりました。今後、防火設備検査報告制度が適切に運用されることで防火設備の安全性と信頼性の確保につながるよう、当協会としても全力で取り組んでまいります。

当協会では現在、シャッターの施工者を対象に技能検定制度導入の準備を進めています。この制度は技能の習得レベルを評価する国家検定制度であり、施工品質の向上、施工者の地位向上、人手不足の解消につながるものとして、当協会が指定試験機関として承認されるべく迅速な取り組みを進めてまいります。

当協会が進めてきた浸水防止用設備のJIS化については、昨年11月にJIS A 4716「浸水防止用設備建具型構成部材」が制定されました。これを機に、建物の所有者らが浸水防止用設備を容易に比較できるようになることなどから、浸水被害の防災・減災に貢献できる取り組みとして、今後も同設備の一層の普及促進を進めてまいります。

一方、重量シャッターと軽量シャッターのJISについても改正に向けた取り組みを進めており、安全装置の装備や点検の推進などの安全周知活動も含めて、今後も安全安心な社会の実現に貢献してまいります。

本年も気候変動に伴う自然災害やポスト2020以降の建設業界への影響など、さまざまな環境変化が予想されますが、当協会としてはより一層、社会に貢献できる協会をめざして、決意を新たにに取り組んでまいります。



▲政務の都合で開催前に駆けつけた衆議院議員の太田昭宏・元国土交通大臣（左から3番目）



■田中 和徳・衆議院議員（復興大臣）

日本は災害列島といわれるほど各種の自然災害があり、その多くが日本の歴史と文化を育んできたといっても過言ではありません。しかし、どんな大きな被害があろうとも、国民の皆さんの結束と理解のもとに、確実に乗り越えて今日まで歩んできました。その中であって、これほど新しい建物があり、都市化された社会が過去に我が国にあったことはない訳ですが、その時にシャッターとドアの役割を考えると、どれほど私たちの防災に、あるいは災害復旧にお力添えをいただく業界であるかということに改めて実感しています。皆さんと共に社会の発展に向けて、また皆様方の業界が国内はもとより、優れた技術と優れたスピリッツを世界に広めていただくための一助となれるように頑張っています。

■平 将明・衆議院議員（内閣府副大臣）

昨年は台風や豪雨などの自然災害が多発し、特に台風19号では防災を担当する内閣府の副大臣として、官邸に設置された非常災害対策本部で対応を進めてきましたが、地球温暖化に伴う災害・防災対策はこれまでの対策の延長上では間に合わないことを実感しました。今後、地球温暖化というテーマに国家として歳出と歳入の両面でどう対応していくかという大きな課題に対して、ITや科学技術などの分野で得た知見を防災・減災分野に実装するために、タスクフォースを編成して対応していきたいと考えています。今年は東京オリンピック・パラリンピックを契機に様々な経済成長や新しい産業の芽が生まれる大会になるよう、様々な政策を実装していく考えですので、ビジネスの現場にいらっしゃる皆様の意見をいただき、政策を前に進めてまいります。



■秋本 真利・衆議院議員（自由民主党国会対策副委員長）

昨年の3度にわたる台風で自宅のある千葉県内は多大な被害を被りましたが、身近なところでは停電で自宅のガレージシャッターを開けられず、しばらく車を使うことができない方がかなり多くいらっしゃいました。同様の状況が湯沸器でも起こりましたが、これを機にガス業界では停電時でも使用できる仕様を一般化する動きが出ているようです。貴協会においても今回の台風を教訓に、長期の停電という状況下で何ができるかを模索していただき、真剣な取り組みを進めてもらわなくてはならない業界だと強く思っています。一方、治水の考え方が日本とは異なる海外においても、インフラが高度化する中で、浸水を食い止めて街を守るという考え方に変わってきているようです。気候変動という観点から世界に目を向けて、日本の誇る浸水対策の技術を世界に波及させていくという取り組みを、業界をあげて進めていただきたいと思います。



■眞鍋 純・国土交通省住宅局長

昨年6月25日に改正された建築基準法が施行され、シャッターやドアに関係することも数多く盛り込まれています。そこでは、埼玉で大型の倉庫で火災があり、なかなか消火できなかった反省を踏まえて、大規模な倉庫については維持管理の計画を策定することを義務づけました。その背景には、使用していく段階で初期のやり方を忘れてしまい、本来であれば火災時に閉鎖するシャッターが機能せず、消火が長引いてしまったということが明らかになりました。初期の性能が発揮されるように維持管理される点検が大事であるにも関わらず、それが果たされていなかったことに伴う法改正でした。また、中高層の建築物に木を用いやすくする木造化も一つの観点でしたが、防火上の一定の工夫をしていただくことによって木を使い易くするという技術的な基準を導入しました。そこでもシャッターや防火戸の役割は大きなもので、皆さまの仕事と直結する改正事項が複数盛り込まれました。昨年は様々な災害が発生し、記憶に新しいところでは台風による甚大な被害が発生しました。これまで建物の災害といえば地震や火事を念頭に置いて推進してきましたが、水があり土砂があり、あるいは風があるということを念頭に置きながら、建築の防災対策を進めていかなければならないという認識を新たにしました。そこで威力を発揮するのはシャッターやドアということになりますから、日本の建築物である住宅の質が向上して、災害時でも被害を最小限に食い止めるためには、シャッターやドアの役割は非常に大きいと思います。そのためにも、初期の性能だけでなく、維持管理も含めた点検、メンテナンスを行うことによって初期の性能が劣化することがないようにしていただくことはとても重要です。そのためにも、業界の皆様方のご尽力をお願いしたいと思います。



竜巻災害の実態 = シャッター・ドアに 期待されること =



摂南大学
理工学部 建築学科
教授 池内 淳子 氏

2012年茨城県つくば市で発生した竜巻災害では、住宅倒壊によって中学生が命を落とし、全壊建物70棟以上の被害をもたらせた。本寄稿では、被災者への調査結果（詳細は下記参照）から竜巻災害の実態について紹介し、シャッター等に期待されることを述べたい。

竜巻はGW中の休日（5月6日）午後に発生した。朝から特に天気の悪い日ではなかったそうである。被災者は「突然、空が暗くなり雷が鳴りだした。窓を見ると竜巻が見えたのでシャッターを閉めた」、「雹（ひょう）に気が付き、窓を閉めた」等の証言を残している。住宅の被災箇所としては、「屋根材」、「窓ガラス・玄関ドア」、「外装材」および「室外機等設備」が圧倒的に多かった。また、住宅内でけがをした人は、ほぼ「外部に面した窓やドアのある部屋」で受傷していた。被災者は、今後の竜巻災害に対する住宅強化策として、「雨戸の設置」や「割れないガラス」

を挙げた。

現在の建築設計荷重として「竜巻」は想定されていない。まして、「竜巻で壊れないシャッターやドアの開発」や、竜巻対策としての「新たな雨戸設置」は、現実的ではないだろう。しかし、建物外部に面する箇所を強化することは、被災者の命を守り、ケガを防ぐことに効果的である。加えて、台風等の強風災害に対してもその効果が期待できる。

「防災」とは、必ずしも“被害ゼロ”を目指すなくてもよい。「少しでも被害を減らす」・「復旧を早める」に貢献できるシャッターやドアがないものだろうか。今後の新たな開発やアイデアに心から期待したい。

※竜巻による人的被害の実態と被災住民の行動パターンの分析、植松康・池内淳子ほか、日本風工学会誌、Vol.38-1、2013
※竜巻発生前後の時間経過に応じた被害低減策、池内淳子ほか、日本風工学会論文集、Vol.39-4、2014

NEWS

賛助会員企業による『第2回 技術・製品 説明会』を開催

2019年10月4日、万世橋区民会館（東京都千代田区）にて、賛助会員企業による説明会を開催しました。これは協会会員のメリット創出の一環として、2018年から始めた企画です。当日は6社の賛助会員企業が、各社の商品・技術について紹介し、合計39名（21社）の方々にご参加いただきました。説明会の後は懇親会を開催し、皆様で情報交換、親交を深めることができました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



防火設備検査員実技講習が開催された

当協会が（一財）日本建築防災協会から受託して実施する、防火設備検査員講習実技講習が本年度も1月15日から三日間、大阪会場よりスタートしました。順次、福岡会場、名古屋会場そして東京会場と、合計10日間にわたって開催されます。防火設備検査報告制度の施工後4回目にあたる今年度は約一千名の学科講習終了者が各会場で実技講習を受講する予定です。



令和元年度 優秀施工者国土交通大臣顕彰

優秀施工者国土交通大臣顕彰式典



2019年10月11日（金）に優秀施工者国土交通大臣顕彰式典が行われました。

本式典は、建設産業の第一線で「ものづくり」に直接従事され、優秀な技能・技術を持ち、後進の指導・育成等に多大な貢献をした方々を『建設マスター』として、また、優秀な技能・技術を持ち、今後更なる活躍が期待される青年技能者の方々を『建設ジュニアマスター』として顕彰するものです。

当協会からは建設マスターとして3名、建設ジュニアマスターとして2名の方々が受賞されました。

優秀施工者国土交通大臣顕彰〈建設マスター〉



梶原 栄一氏

ケイ・エスエス技建(株)
(推薦：三和シャッター工業株)



津山 匡伸氏

津山工業
(推薦：文化シャッター株)



菊池 勝則氏

菊池工業
(推薦：東洋シャッター株)

青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰〈建設ジュニアマスター〉



菅野 悠太氏

菅野悠太工業
(推薦：三和シャッター工業株)



松本 健吾氏

松本健工業
(推薦：文化シャッター株)

第23回 定例理事会が行われました

さる2019年10月24日(木)午後、ホテルメルパルク大阪にて日本シャッター・ドア協会の第23回定例理事会が行われた。

その後、西日本を中心とした会員企業が出席し、懇親会が開催された。

第23回 定例理事会



15時より、6階「未広」において、第23回定例理事会が開催された。定例理事会では、2019年度事業及び収支の中間報告、防火シャッター・ドア保守点検専門技術者資格認定規程の改定について、防火設備検査員名簿登載制度規程の制定について、他、多数の議題が審議され、承認された。又、防火シャッター・ドア保守点検専門技術者講習会受講資格不足者について等の報告が行われた。

西日本支部懇親会



夕刻より、5階「コムナーレ」にて西日本支部を中心とした会員ら約60名が参集し、懇親会が開催された。長野会長よりご参集いただいた皆様へのごあいさつが行われ、その後、西日本支部長である岡田常任理事の乾杯の発声により歓談に移った。会は終始和やかな雰囲気の中、潮崎副会長の中締めによりお開きになった。

NEWS

浸水防止用設備建具型構成部材に関する JIS が制定されました

2019年11月20日「JIS A 4716 浸水防止用設備建具型構成部材」が制定されました。

これは当協会が原案作成団体となり、東京大学大学院清家剛先生を原案作成委員会委員長として進めてきたものです。

現在、多種多様な浸水防止用設備製品が販売されていますが、浸水防止性能の評価方法が統一されていないため、製品ごとの比較が困難でした。JIS 制定により、各性能の

評価基準や試験方法が規定され、要求される品質に合わせた製品を選べるようになります。

地下街や建物などの所有者・管理者が、それぞれの浸水防止計画に則した浸水防止用設備製品を比較検討することが容易になり、要望に適した製品の選択が可能となることで、拡大傾向にある浸水被害の軽減に資することが期待できます。

■ごあいさつ



長野 敏文 会長

西日本支部の皆様には、日頃より当協会の活動にご理解・ご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

又、この度の豪雨・台風などの自然災害により、被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧と皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

さて、当協会の「防火シャッター・ドア保守点検専門技術者」における資格不正取得の件につきましては、皆様大変ご迷惑・ご心配をお掛けしましたことをお詫び申し上げます。先程開催されました定例理事会では、この制度の「資格認定規程」の改定案が承認されました。この規程を適切に運用していく事により、新たなスタートを切ってまいります。

今後共、「防火シャッター・ドア保守点検専門技術者」をよろしくご理解・ご支援いただきます様お願い致します。さて、2020年東京オリンピック・パラリンピック控え、建築業界は首都圏を中心に、過去に例を見ないほどの大量の工事が進行中です。施工技術者をはじめ人材確保が困難な状況の中で、当協会は、「シャッター・ドア及び防火設備の性能向上、適切な品質・安全性の確保と、健全な普及促進」に取り組んでまいります。

まずは、ストック製品の確実な作動を確保するために、保守・点検の普及促進活動をおこなってまいります。

更に、防火設備検査報告制度的確かつ円滑な運用に向けて、防火設備検査員実技講習を実施していくことはもちろんのこと、適切な検査の実施運用に向けた調査、検討を進めてまいります。

又、製品性能の基準制定としては、浸水防止設備のJIS制定や、重量シャッター・軽量シャッターのJIS改正を通して、これら製品の性能向上、安全性の向上、適正な普及に貢献してまいります。これからも、社会への貢献、そして会員の皆様に貢献できる活動に取り組み、皆様から信頼される協会となります様、努力してまいります。

■乾杯のご発声



岡田 敏夫 常任理事

■中締めのごあいさつ



潮崎 敏彦 副会長



▲三本締めでお開きとなりました

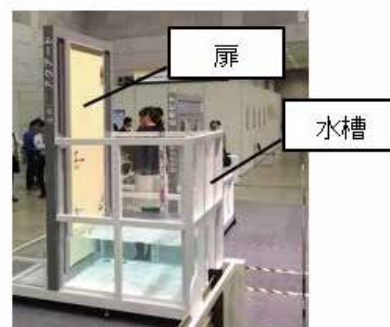


▲JISA4716表紙



連続構造止水板

▲シャッター型設置例



▲ドア型浸水試験例

新会員企業紹介コーナー

株式会社 イハラ

所在地：香川県仲多度郡多度津町西港町 16-2

事業内容：シャッター、鋼製建具、その他金属製品の製造施工。

自社ブランド商品「P' You」の製造販売及び維持保守業務。

● 当社の強み

1970年1月創業以来、三和シャッター工業株式会社の協力企業として、シャッター・ドアを主に納品してまいりました。特に、高速道路用非常避難設備であるエスケードアをはじめ、様々な特殊製品に特化したものづくりに尽力してきました。今後は当該事業の拡充とともに機能性の高い自社ブランドの開発を目指します。

● JSDA に期待すること

日本のシャッター・ドア分野に於いて、さらなる躍進の為の礎として、安全且つ高性能製品が広く普及していくよう活動していただけることを願っております。



代表取締役社長
伊原 佳子 氏



▲製品写真



▲製品写真



▲工場内観



▲本社外観

株式会社 Keiden

所在地：東京都文京区本駒込 2-29-24

事業内容：IC錠・カード錠・カードリーダー・入退管理システム・キーボックス、開発、製造、販売住宅、建材メーカー様へのOEM・ODM製品の企画、開発

● 当社の強み

1972年の創業よりカードキーをはじめとした開発精神に富んだ独自の防犯製品を開発・ご提供してまいりました。近年ではRFID技術を用いたIC錠「Fe-Lock」を住宅・オフィス・工場等の様々な施設でご利用頂いており、また、住宅、建材メーカー様に合わせたOEM・ODM製品の開発も積極的に行っております。

● JSDA に期待すること

会員会社様との交流、情報交換の場を設けて頂き、弊社も業界のことを勉強し、各会員様との繋がりを深め、貴協会の技術レベル向上の一助になりたいと思います。



代表取締役
酒井 信世氏



▲本社外観



▲ IC 取替錠
Fe-Lock SE



▲ IC 取替錠
Fe-Lock Light



▲カードリーダー SS-Reader



▲キーボックス
カギ番人

第8回 会員企業紹介コーナー

アルラックス株式会社

所在地：東京都品川区大崎 1-18-7

事業内容：ドイツのシャッターブランド、「ALULUX」からの輸入、加工、製造、販売

● 当社の強み

シャッター先進国である、ドイツ ALULUX 社から部品を輸入し、日本仕様に加工して販売しています。他メーカーでは類を見ない、高い意匠性を持っているのが特徴です。製品は35年前から日本国内で販売し、日本での実績が3万台以上あります。メンテナンス部品も、国内に常備在庫があり、短納期で納品できます。

● JSDA に期待すること

海外を含めた業界の最新情報、市場の動き、面白い製品等を逸早く発信してほしい。

● 地元のオススメスポット

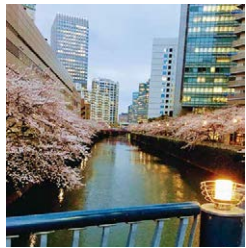
会社の近くを流れる目黒川は、春には川沿いの桜が満開になり夜はライトアップされます。高層ビル群の景観とうまく調和し、とても綺麗です。帰り道に足を止めて夜桜を満喫するのが春の楽しみです。



代表取締役社長
淵 剛氏



▲本社



▲目黒川



▲製品



▲製品



▲工場

大同機工株式会社

所在地：埼玉県戸田市新曽 336 (アクアフォレスト大同 2F)

事業内容：水門、除塵機、防水扉、鋼構造物の設計・製作・施工・保守管理。水道：下水道施設、揚排水施設の工事請負・設計・製作・施工。建設仮設機材の製造・販売、インテリアデザイン製品の製造・販売。

● 当社の強み

創業64年、一貫して水に係る水門・除塵機といったインフラ事業を通じて地域・社会の発展の為に努力して参りました。この豊富な経験を生かし開発された製品が弊社製の防水扉です。性能以外でも、ゲリラ豪雨等の急な出水時でも活躍出来るものから、力に自信のない方でも簡単に設置できるものまでラインアップされています。

● JSDA に期待すること

顧客への信頼度アップ及び販促活動の後押しになりますので、業界専門誌へのコマーシャルや官庁関係へのPR活動等、品質規格としての知名度を上げて頂く活動を希望します。



▲じとっこ外観

● 地元のオススメスポット

『じとっこは』宮崎地鶏の専門店。イケメン店長お勤めのマズコレセットは炭火焼きとゆずポン酢たれの併せ技！焼酎との相性も抜群。週末は家族連れで賑わうアットホームな店。戸田にお越しの際は是非お立寄り。



代表取締役社長
徳永 光昭氏



▲本社



▲ H18 埼玉県発注加須農林調整ゲート



▲ H18 埼玉県発注熊谷県土除塵機



▲シート式防水扉(アタッチメントタイプ)



▲工場

第7回 委員会紹介コーナー

JSDA 各委員会の活動を委員の皆さんのコメントとともに紹介します。

業務委員会

中原 正委員長より（小俣シャッター工業）

◆活動意義について… シャッター及びドア製品を安全に使用して頂く為、日常の点検・専門技術者による定期点検の必要性を広報する「点検の日」、製品による事故防止（機能付加製品の普及）「安全の日」を推進支援する活動や、市場および用途の集計を行いどのような製品が求められているかの確認を行っています。

◆今年度の目標… 「点検の日」「安全の日」を、一般ユーザーに認知して頂く為の広報活動・方法を検討・実践していきたいと考えています。

◆委員長のコメント… 私たちが取り扱っている製品は、鋼製建具の中でも大きな重量を保有しており、落下事故が発生すると人命にかかわる可能性が有ります。日常の取扱・点検や、万が一の事故を防止する為の安全装置の普及活動に力を入れて参ります。

各社委員の皆さんより（五十音順）

菅 圭司（東洋シャッター）

◆開催回数 600 回を超える当委員会へは、本年度より任命されました。6/1 点検の日・9/1 安全の日と定め、シャッター・ドアの定期点検の重要性と機能付加製品（障害物感知装置、落下防止装置等）の普及に取り組んでまいります。

高橋 義浩（文化シャッター）

◆今年度は「点検の日」「安全の日」を浸透させるための啓発活動を中心にを行っています。



各社の意見等参考にしながら、展開させていくわけですが、この活動が「安全」「安心」に結びつき事故の撲滅になるよう取り組んでいきたいと考えています。

田中 信広（金剛産業）

◆当委員会で行っている安全の日の実施を通して、シャッターの重大事故ゼロを目指していくことで、シャッターの正しい使用方法の啓蒙活動に知恵を絞って取り組んでいけたらと考えています。

床田 智巳（三和シャッター工業）

◆本年 4 月より業務委員会に参加させて頂いております。シャッター・ドア業界を取り巻く環境は早いスピードで著しく変化し、市場からシャッター・ドアに求められる機能や役割も益々高いレベルを要求されると想定されますが、少しでも皆様に貢献できるように取り組んで参りますのでよろしくお願いいたします。

宮本 晋（鈴木シャッター）

◆2019 年 4 月より委員として参加させて頂いております。AI、IoT が目覚ましい進化を遂げ市場ニーズが益々多様化する中、関係各所・団体との連携を図りながら様々なデータ収集や市場分析を通して、取り組むべき課題を解決し魅力ある業界として更なる発展に寄与できるよう微力ながら活動に邁進したいと思っております。

企画広報委員会

新子 雅之委員長より（三和ホールディングス）

◆活動意義について… 企画・広報委員会では、協会の会報の制作やホームページや各種メディアへの広報活動を通じて、協会の認知度アップまた、会員各企業の会員メリットにつながる事業を企画することも活動目的です。

◆今年度の目標… JSDA 会報の制作が主要な業務なので、まずは会員各社のみなさんにとって有意義な情報が満載となっているものを発行することが今年の目標です。またできれば会員各社が加入してよかったと思えるようなイベントが企画できればと思っています。

◆委員長のコメント… 活動意義などに記載した大きなテーマは十分実行できておらず、年間 3 回程度の会報制作が精一杯となっています。浸水防止設備の JIS 制定など、大きなトピックスについては業界紙などに取材いただくなど、協会としての取り組みをできるだけ露出できるように事務局と連携し、活動を盛り上げていきたいと考えています。

各社委員の皆さんより
（五十音順）



秋元 ヴァン

（三和ホールディングス）

◆会員企業の皆さまにとって有益な情報を分かりやすく明確に伝えるように会報制作を行っています。今後は JSDA や会員企業の取組みをもっと発信していければと考えています。

井上 里司（鈴木シャッター）

◆活動のメインは JSDA の会報作成になります。ここ数年で新会員企業や委員会の紹介、旅行記、美味しいお店紹介等、新しいコーナーを立ち上げて来ました。会報を通じて、JSDA や委員会メンバーの活動を知って貰う為、より多くの方が見ていただける会報を作ることで、JSDA に貢献して行きたいと思っております。

鮫島 敏郎（東洋シャッター）

◆私は広報という仕事に関しては全くの素人で、年 3、4 回発行の JSDA 広報誌を委員長、各委員、協会担当者の方は表紙、記事、写真及びページ割等を手際よくまとめて行かれることに毎回感心しております。これからも委員各位の足を引っ張らないように努力して参ります。

曾根 政行（文化シャッター）

◆会報などを通じて会員企業の皆様へ業界の動向などをわかりやすくお伝えできるよう今後も各委員と協力して取り組んで参ります。また会員メリットが享受できるような紙面づくりを心掛けて参ります。いつもご愛読いただきありがとうございます。

京都・梅小路公園

今回は京都をご案内致します。

世界遺産が17箇所あり、国宝指定の建造物も多数あります。昨今は、海外観光客の増加により、有名な神社仏閣はどこも人が多く、ゆっくりと見学することが出来なかったりします。

神社仏閣ではありませんが、梅小路公園（朱雀の庭）をご紹介します。入園料が200円かかりますが、人が少なくゆったりと楽しむことができます。約9,000平方メートルの池泉回遊式庭園で、春にはシダレザクラが咲き誇り、夏にはサルスベリの花が水鏡（池）を囲み、秋には紅葉がライトアップされ、冬に雪が降れば雪で化粧された庭園を臨めます。特にライトアップされた紅葉は、息をのむ景色です。是非、京都旅行へ行かれましたら立ち寄ってはいかがでしょうか。

京都市都市緑化協会 HP 参照



▲梅小路公園（朱雀の庭）



LE BOOZY

住所：兵庫県神戸市中央区加納町 2-3-13

今回ご紹介するのは、神戸・JR三ノ宮駅と新神戸駅の間に位置するビストロスタイルのレストランです。（徒歩5～10分程度）

店名「LE BOOZY（大酒飲みの意味）」の名の通り、豪快な料理が特徴。ディナーはお酒の進む肉料理が楽しめますが、10時～14時に営業しているランチもおすすです。特におすすめなのは、ソーセージ、ハム、そして玉子がのったボリューム満点なパンケーキ。一緒に出されるメープルシロップをかけると甘味と塩気がマッチしてさらに美味しくいただけます。

店内はレトロアメリカンの雑貨や家具で統一されており、落ち着いた雰囲気の中、是非ゆっくりとランチを楽しんでみてください。



▲ボリューム満点なパンケーキ



謹賀新年

2020

謹賀新年

大鳥機工株式会社

代表取締役社長 藤原 憲 治

〒689-1121
鳥取県鳥取市南栄町 19 番地
TEL 0857-53-4611 FAX 0857-53-3515
<http://www.ohtori-kiko.co.jp>

謹賀新年

昭和建産株式会社

代表取締役 竹山 敏彦

〒370-0603
群馬県邑楽郡邑楽町中野 1453 番地
TEL 0276-88-2121 FAX 0276-88-7054
<http://www.s-kensan.co.jp/>

謹賀新年

株式会社シブタニ

代表取締役社長 石橋 芳 男

〒541-0048
大阪府大阪市中央区瓦町 1-2-13
TEL 06-6222-8188 FAX 06-6222-8189
<https://www.shibutani.co.jp/>

謹賀新年

杉山製機株式会社

代表取締役 杉山 義 継

〒939-0351
富山県射水市戸破 624
TEL 0766-50-1007 FAX 0766-55-2212

謹賀新年

日本ドアーチエック製造株式会社

取締役社長 出向井 康 司

〒544-0014
大阪府大阪市生野区巽東三丁目 17-10
TEL 06-6758-1251 FAX 06-6758-0728
<https://www.e-newstar.co.jp>

謹賀新年

株式会社畑屋製作所

代表取締役社長 足立 憲 泰

〒467-0854
愛知県名古屋市瑞穂区浮島町 12-24
TEL 052-692-7211 FAX 052-692-7281
<https://www.hataya.jp/>

謹賀新年

BX新生精機株式会社

代表取締役 北村 泰 一

〒675-2444
兵庫県加西市鴨谷町 687 番地
TEL 0790-44-1161 FAX 0790-44-2271

謹賀新年

末栄金属株式会社

代表取締役 増井 茂 夫

〒343-0804
埼玉県越谷市南荻島 1223-3
TEL 048-974-1231 FAX 048-974-6766

謹賀新年

株式会社ユニオン

代表取締役社長 立野純三

〒550-0015
大阪府大阪市西区南堀江2丁目13番22号
TEL 06-6532-6277

謹賀新年

株式会社ライズプラス

代表取締役 長尾慎一

〒101-0032
東京都千代田区岩本町3-5-14 リベラ岩本町4階
TEL 03-5839-2194 FAX03-5839-2494
<https://riseplus.co.jp/>

謹賀新年

リョービ株式会社

代表取締役社長 浦上彰

〒726-8628
広島県府中市目崎町762
TEL 0847-41-1111 FAX 0847-43-6111
<https://www.ryobi-group.co.jp/>



(社名五十音順)

広告出稿のご案内

広告出稿をご希望の方は以下の規格の広告原稿を下記連絡先まで送付いただきますようお願い致します。

掲 載：JSDA 会報 春号より

申込期間：2020年2月1日～3月31日

申込資格：日本シャッター・ドア協会 一種・二種会員、準会員、賛助会員

広告規格：・内 容 「企業広告」

・大き さ 縦 13cm × 横 18cm (A4 半ページ程度)

・形 式 JPEG、PDF、PNG (カラー・モノクロどちらでも可)

掲 載 料：50,000 円

【ご参考】JSDA 会報について

発行部数：2,500 部 フルカラー

配 布 先：官公庁、地方自治体 (特定行政庁)、指定確認検査機関、関係団体、設計事務所、建設会社、
大学、会員企業 181 社 (12 月末現在) 他

お問い合わせ先

一般社団法人日本シャッター・ドア協会

〒102-0073 東京都千代田区九段北3丁目2-5 九段北325ビル8F

TEL：03-3288-1281 FAX：03-3288-1282

E-mail: m-yamazaki@jsd-a.org

宇佐神宮（大分県）

大分県宇佐市にある宇佐神宮は、奈良時代の西暦725（神亀2）年に現在の地に御殿が造立され、八幡神をお祀りしたのが同神宮の創建です。

「八幡さま」は古くより全国各地で多くの人々に親しまれ、祀られてきました。全国11万社ほどある神社のうち、「八幡さま」が約4万600社といばん多くのお社があり、宇佐神宮はその総本宮になります。神宮の敷地は広大で、寄藻川に架かる神橋を渡ると本殿に向かう参道は広く、まず大鳥居をくぐると気持ちは引き締まります。本殿へ向かう左手に菱形池があり、その中洲には能舞台があります。参道の階段を上り詰め最後に宇佐鳥居をくぐり、西大門を抜けると本殿に到着します。残念ながら、本殿は中央の勅使門の奥にあるために直接参拝することはできませんが、境内からは見事な勅使門を中心とした八幡造のお社を参拝することができます。

また、宇佐神宮のある宇佐市内には唐揚げ専門店発祥の地や、麦焼酎で有名な酒造会社の本社がおかれています。



▲勅使門



▲大鳥居と参道



▲宇佐神宮発祥というわれる御許山大元神社を臨む

JSDA 会報 2020年・新春号

発行日:2020年1月 通巻第58号

発行者:一般社団法人日本シャッター・ドア協会

〒102-0073 東京都千代田区九段北3丁目2-5 九段北325ビル8階

tel.03-3288-1281 (代) /fax.03-3288-1282

URL:<http://www.jsda.or.jp>